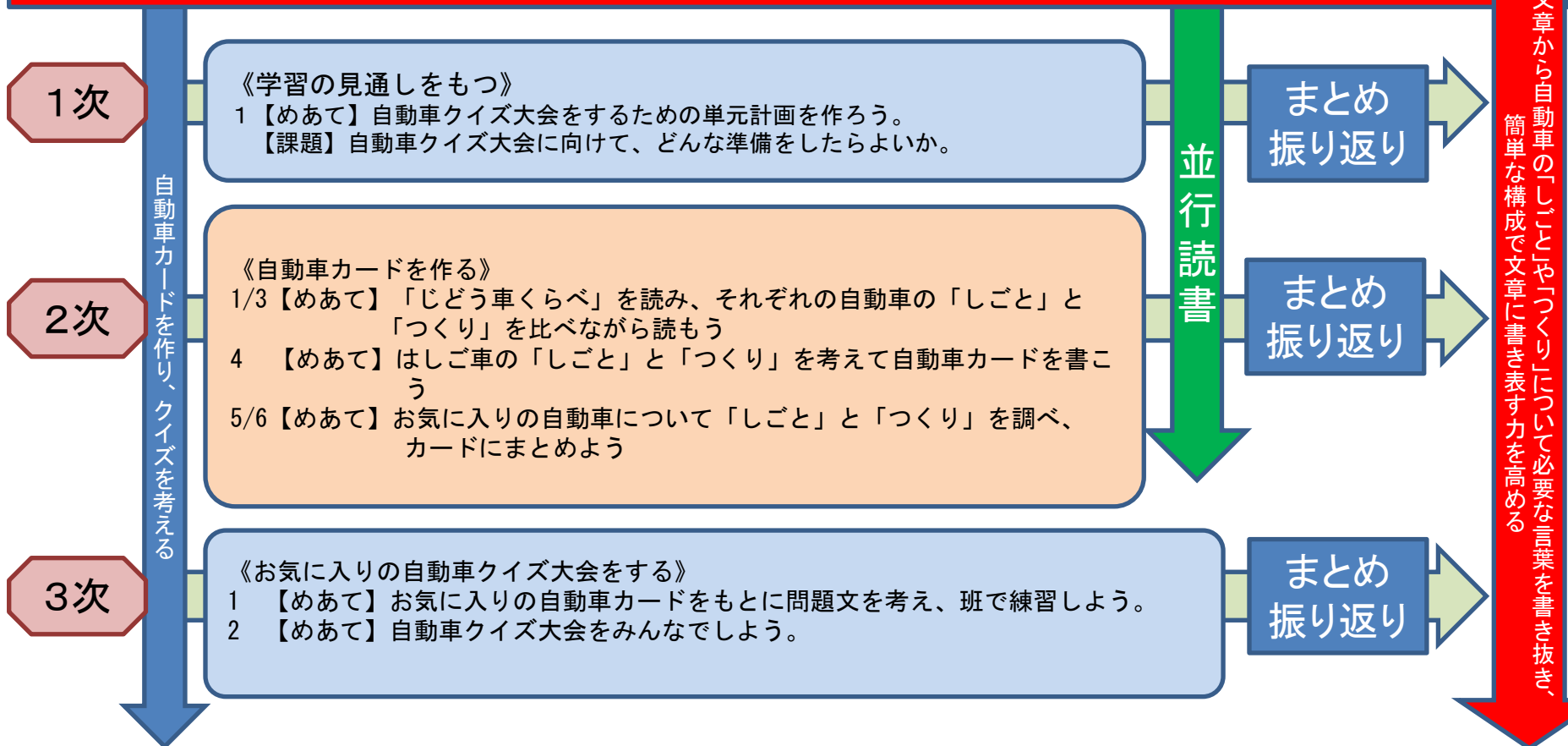


# 小学校国語科単元計画【第1学年：書くこと・読むこと】

【単元のねらい】自動車クイズ大会に向けて「お気に入り自動車カード」を作ることを通して、自動車について書かれた本や文章から自動車の「しごと」や「つくり」について必要な言葉を書き抜き、簡単な構成で文と文の続き方に注意しながら文章に書くことができるようにする。

【単元のめあて】お気に入りの自動車カードを作り、自動車クイズ大会をしよう

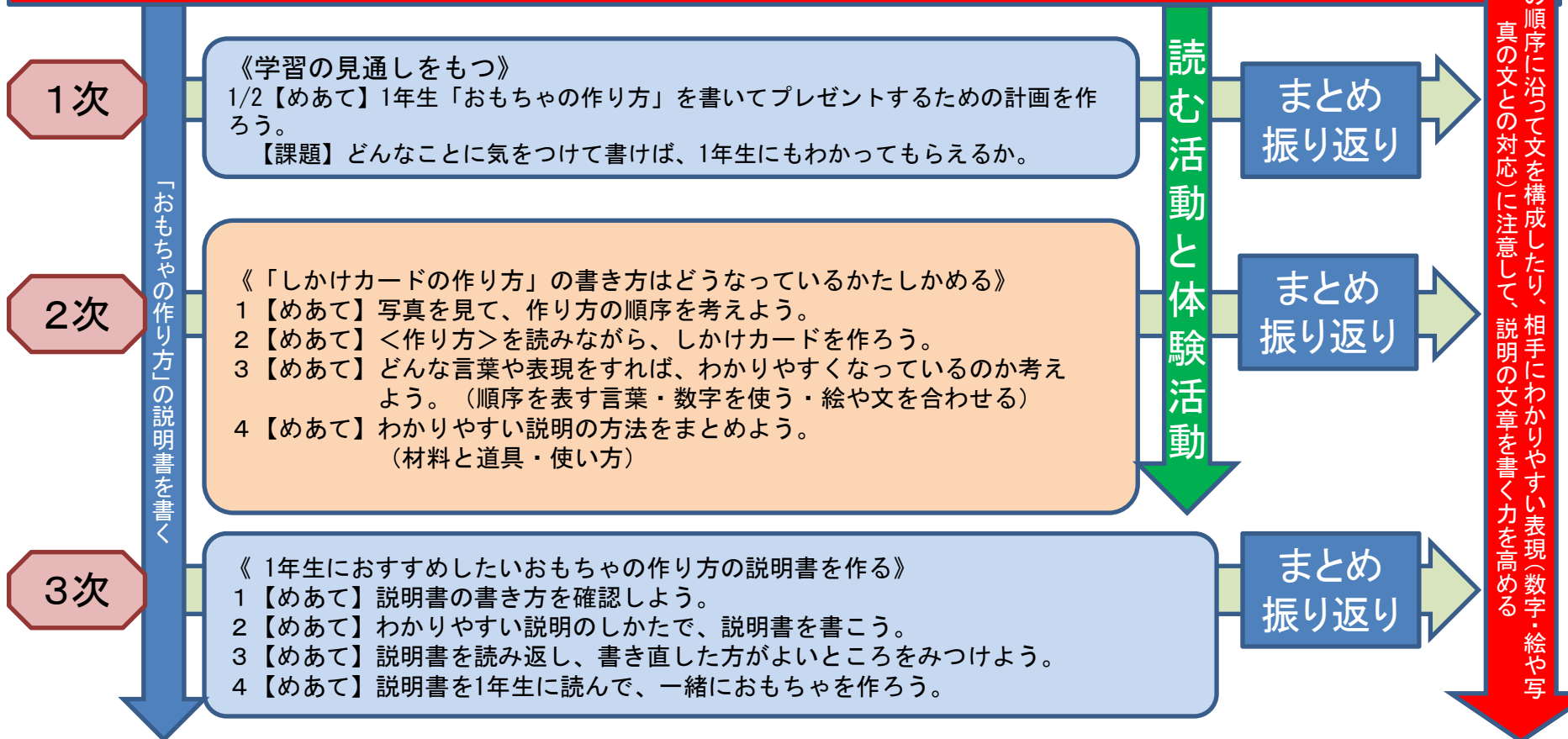


【単元の振り返り】(記述例) 自動車について書いている本から、「しごと」と「つくり」を探すのが難しかった。自動車カードを作る時に、仕事と作りをつなげるために、つなぎことば「そのために」を使うと文章が簡単に書けた。友だちが調べている自動車で知らない車があり、いろいろな仕事をする車がたくさんあるな。と思った。

# 小学校国語科単元計画【第2学年：書くこと】

【単元のねらい】「おもちゃの作り方」の説明書を書くことを通して、事柄の順序に沿って説明の文章を構成したり、相手にわかりやすい表現（数字、絵や写真と文の対応）に注意しながら文章を考える力を高める。

【単元のめあて】1年生に「おもちゃの作り方」の説明書をプレゼントしよう

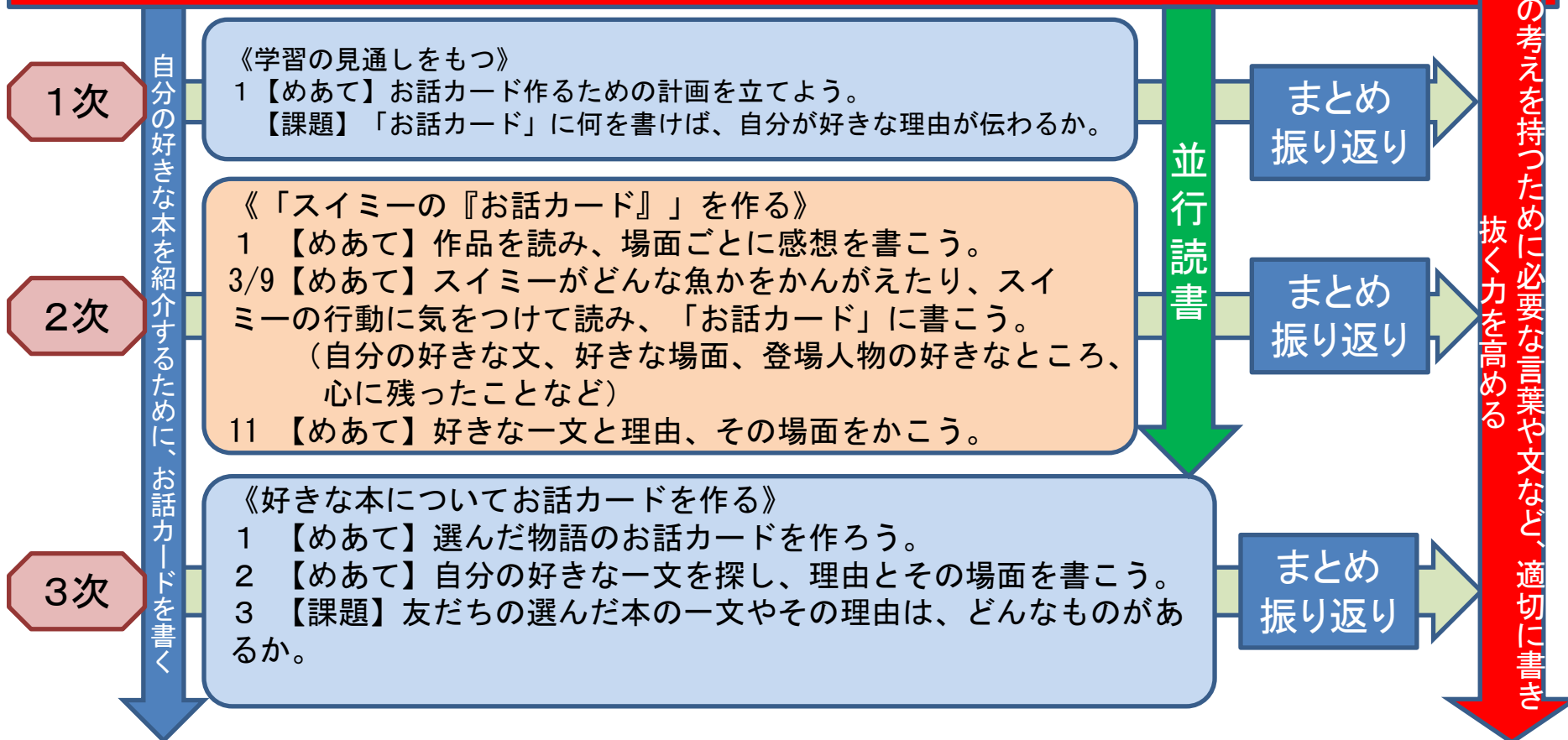


【単元の振り返り】(記述例) 1年生に説明書を読んだら、順序の言葉(はじめに、次に)があったのでわかってもらえました。写真を文で説明するのが難しかったけれど、短い文でまとめて1年生にわかってもらえたのでうれしかったです。

# 小学校国語科単元計画【第2学年：読むこと】

【単元のねらい】「お話カード」に好きな一文とその理由を書くことを通して、文章の中から自分の思いや考えを持つことに強く影響している言葉や文を書き抜く力を高める。

【単元のめあて】好きな本の好きな一文を選び「お話カード」にまとめて、交流しよう

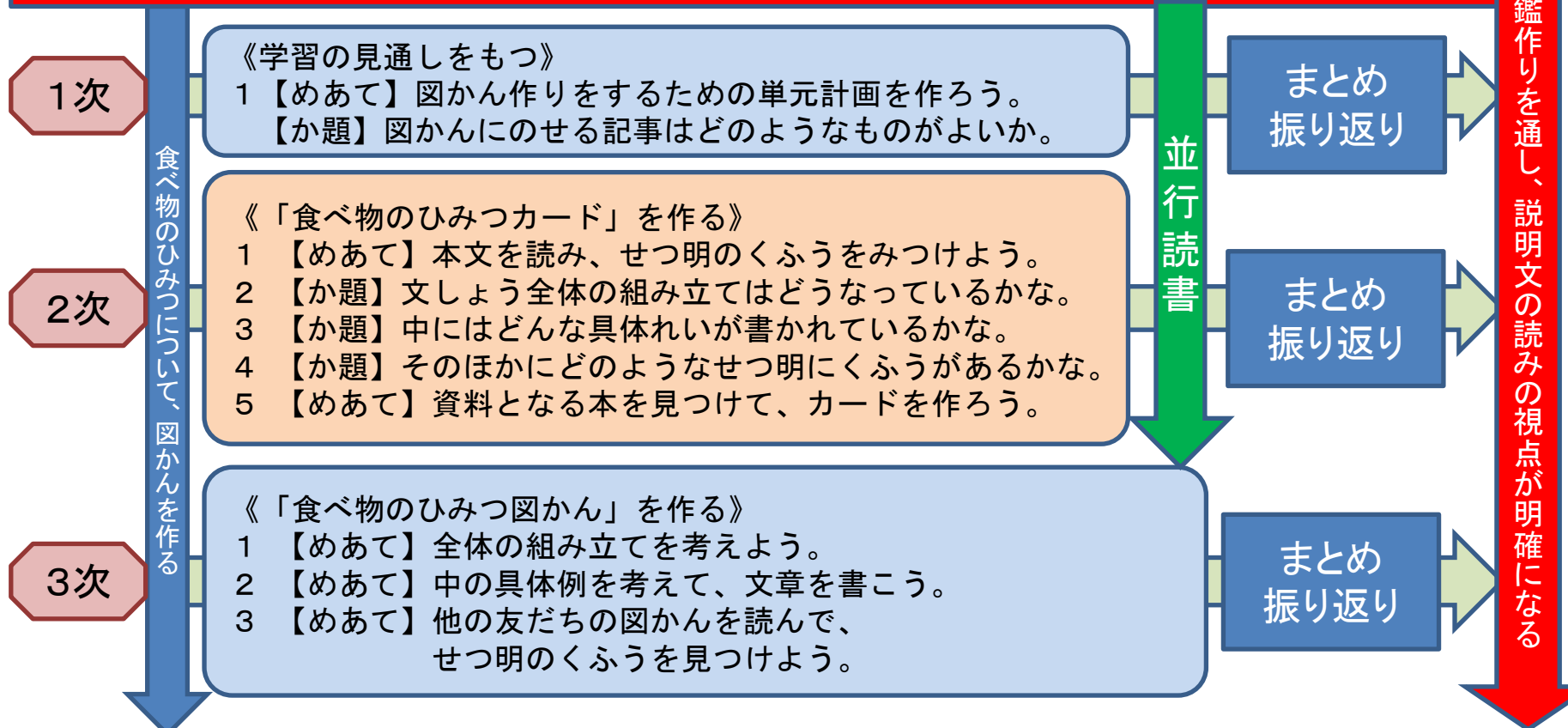


【単元の振り返り】(記述例)友だちはその本のどんな場面が好きなのか、どんな文や言葉が心に残っているのか、その理由は何かが分かった。友だちのお話カードを見て、その本を読みたいと思った。

# 小学校国語科単元計画【第3学年：読むこと】

【単元のねらい】食べ物を食べやすくする工夫について、それを図鑑にまとめることを通して、中心となる語や文を捉え段落相互の関係を考えながら、文章を的確に理解する力を高める。

## 【単元のめあて】3年2組の「食べ物のひみつ図かん」を作ろう

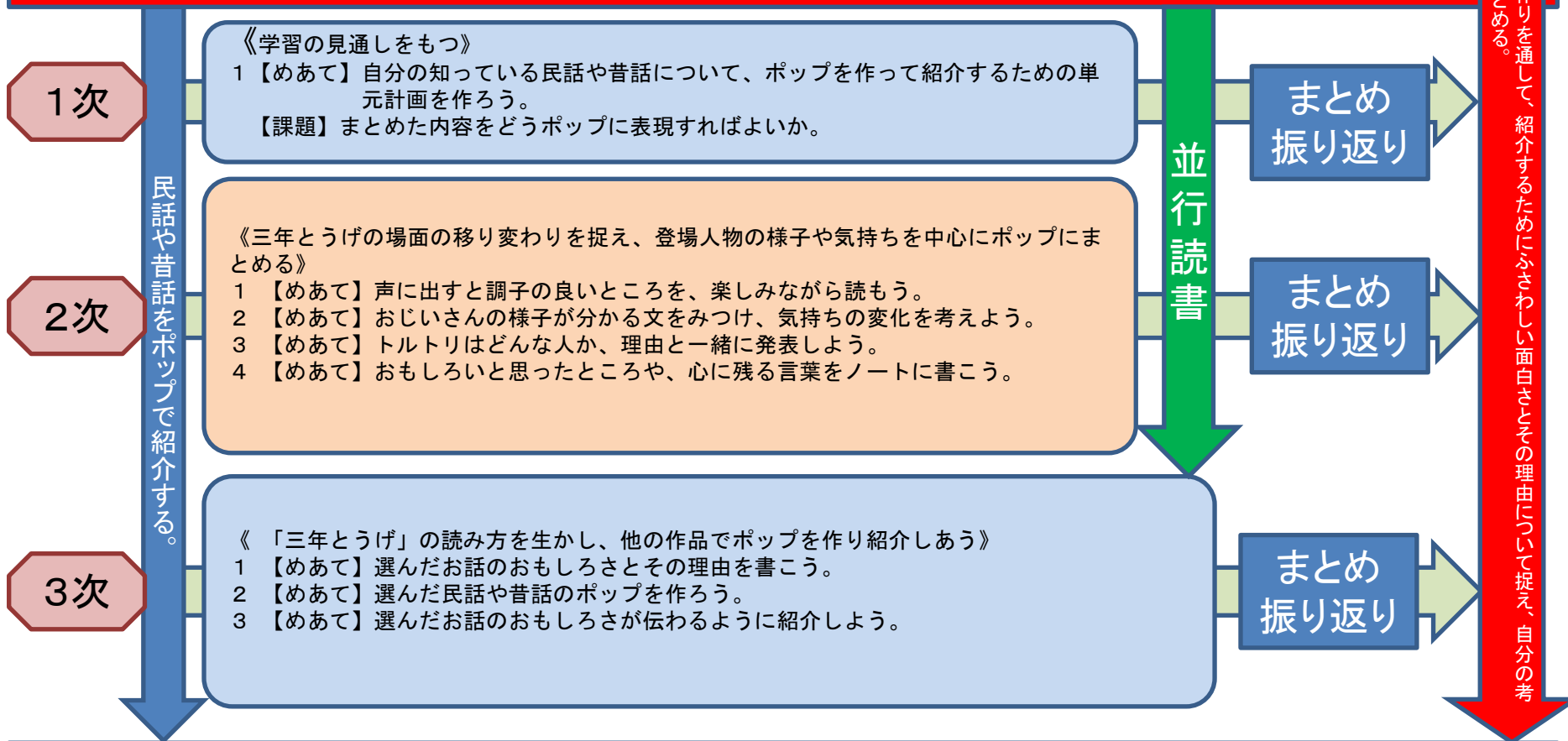


【単元の振り返り】(記述例)わかりやすい文にするためには、文の組み立てや、具体例が必要だとわかった。それに、絵や写真があるとさらにわかりやすいと思った。また、友だちの図かんを読んで、「いいな」と思ったせつ明のくふうはまねしたい。

# 小学校国語科単元計画【第3学年：読むこと】

【単元のねらい】登場人物の気持ちの変化や情景について、自分の考えをまとめポップにすることにより、想像しながら読む力を高める。

【単元のめあて】民話や昔話を読んで、おもしろいと思うところを紹介しよう。

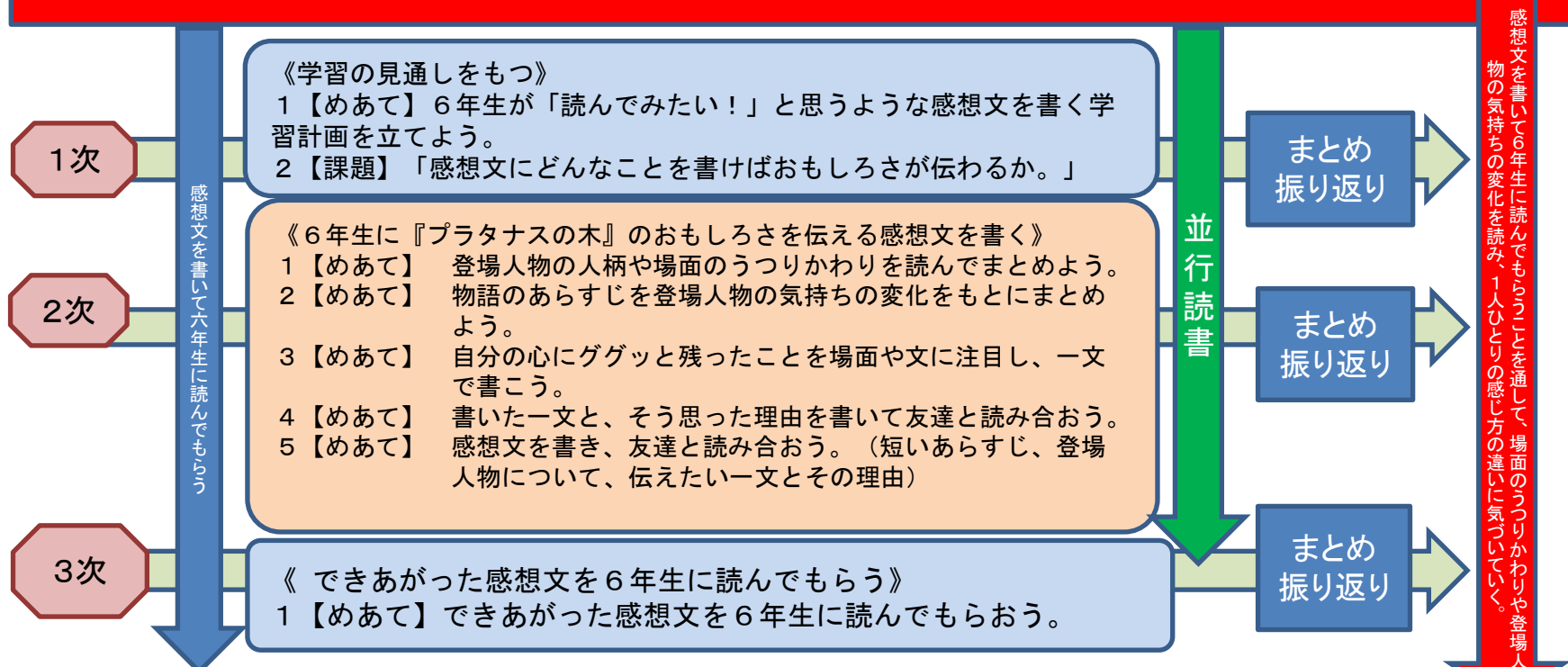


【単元の振り返り】(記述例)おもしろい場面とその理由をポップにあらわすことができた。中国の昔話のお話のおもしろさと、その理由が分かった。友だちのロシアの昔話のポップを見て、その本を読みたいと思った。

# 小学校国語科単元計画【第4学年：読むこと】

【単元のねらい】物語を読んで心に残ったことを感想文に書き6年生に読んでもらう活動を通して、場面のうつり変わりや登場人物の気持ちの変化などを叙述をもとに想像して読んだり、感想文を交流して1人ひとりの感じ方の違いに気づいたりする力を高める。

【単元のめあて】『プラタナスの木』を読んで心にググッと残ったことを感想文に書いて、6年生に物語のおもしろさを伝えよう

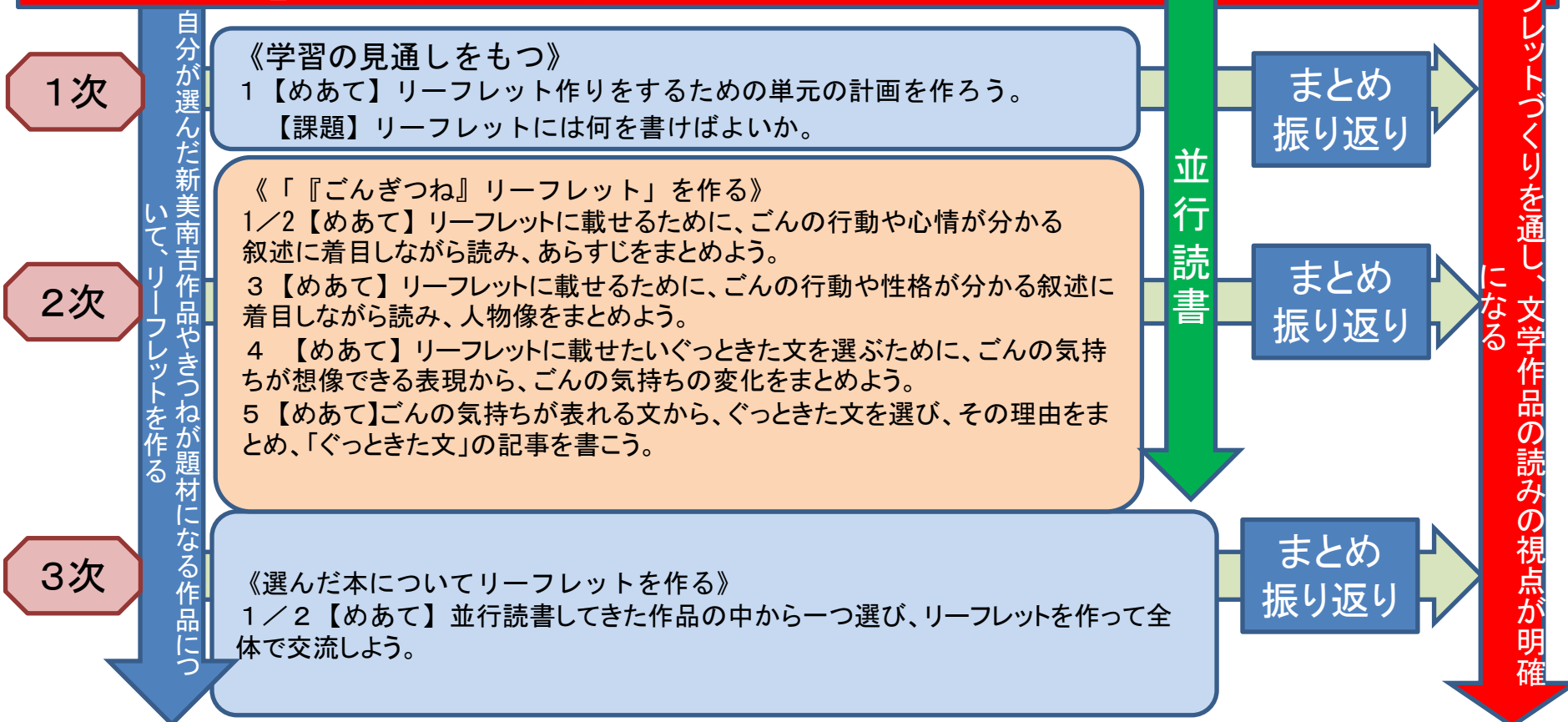


【単元の振り返り】(記述例)物語を読んで自分の心に残ったことを伝えるためには、まず登場人物の人がらや気持ちの変化を読むことが大事だということがわかった。本文の中の、会話文や気持ちを表す言葉に注目すると、登場人物の気持ちの変化がよくわかった。友達の心に残ったことが違って、読み合うのが楽しかった。6年生に感想文を読んでもらって、「わかりやすかった」「伝えたいことがよく書けていた」「〇〇という言葉がとてもよく伝わった」などほめられたり、「もっと～～と書いたらいいよ」などアドバイスしてくれてたりしていたのがうれしかった。

# 小学校国語科単元計画【第4学年：読むこと】

【単元のねらい】登場人物の性格や気持ちの変化について、叙述をもとにしたり、友達との読みの交流を参考にしたりすることを通して、想像しながら読む力を高める。

【単元のめあて】自分が選んだ新美南吉の作品やきつねが題材になる作品を『リーフレット』にして友達に紹介し合おう。

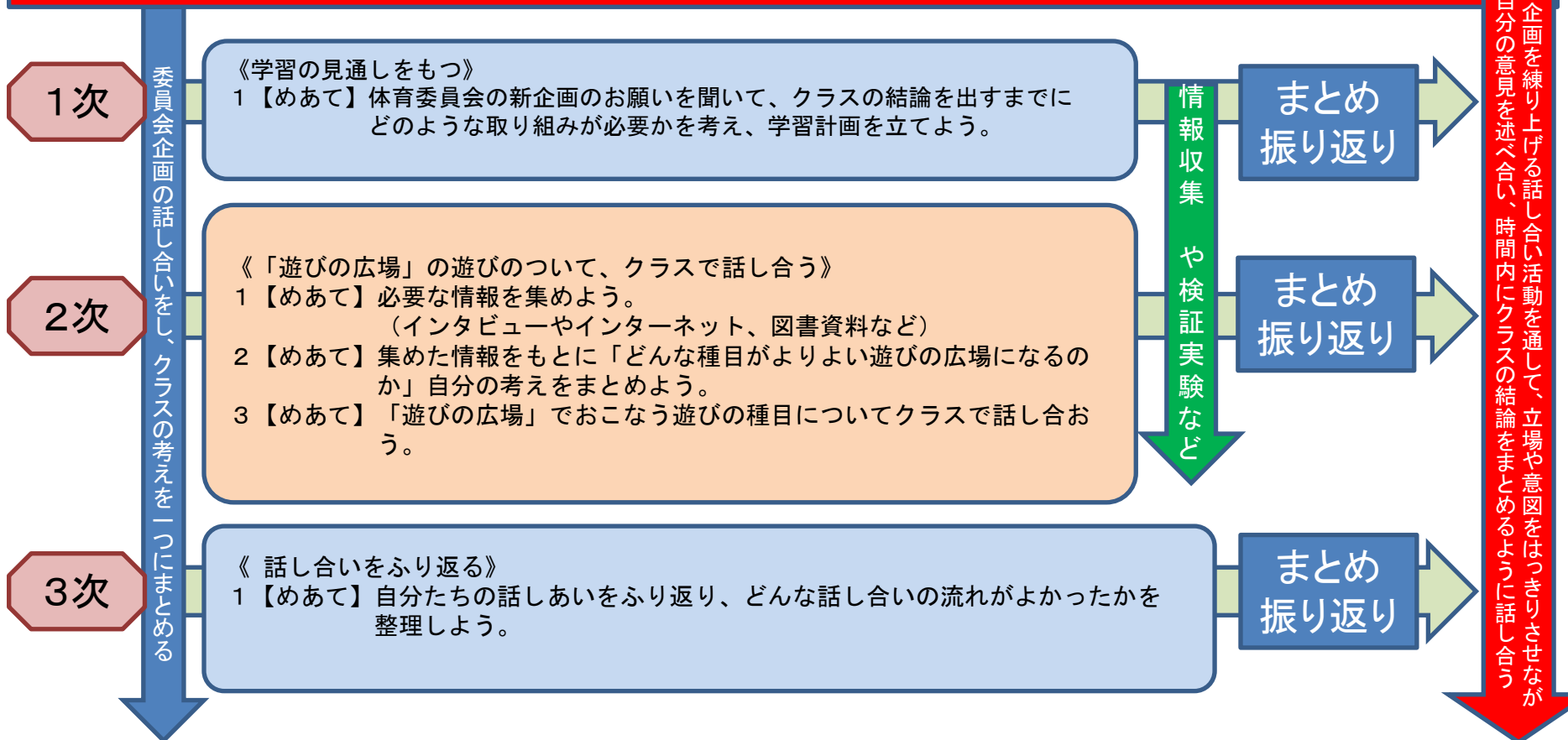


【単元の振り返り】(記述例) 私はぐつときた文に「その明るく日も、ごんは、くりを持って、兵十のうちへ出かけました。」を選びました。ごんがの気持ちは、ごんがの行動や言葉に表れていることに気がきました。〇〇さんは、同じ文を選んでくれたけど、私とは違うごんがの気持ちを想像して書いていて、そういう考え方もあるんだなと思いました。登場人物の気持ちが表れる文を紹介するところが楽しかったです。

# 小学校国語科単元計画【第5学年：話すこと聞くこと】

【単元のねらい】委員会活性化の一つとして、体育委員会から発信する「全校がなかよくなって、体力アップするための遊びの広場を作る」という新企画をつくりあげることを通して、提案者の立場に立って理由や根拠をはっきりさせながら、計画的に話し合う力を高める。

【単元のめあて】新しい委員会企画について考えよう（豊田小を委員会活動で盛り上げよう大作戦）



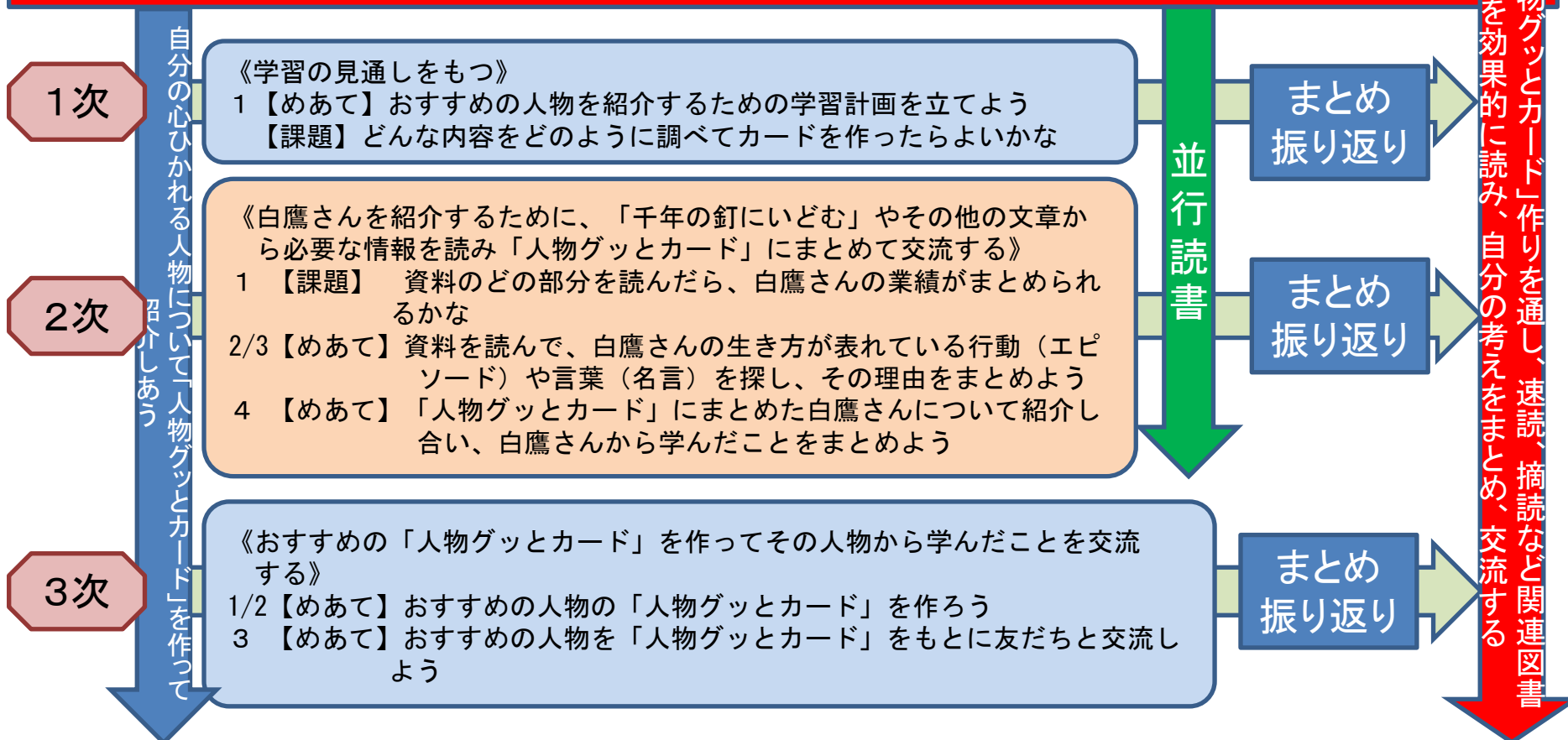
【単元の振り返り】（記述例）それぞれとてもいい案で悩みましたが、「体力アップ」と「みんな仲良く」の二つの視点で最もふさわしいと思った遊びは、しっぽとりとなわとびでした。特に〇〇さんが低学年へのインタビューやインターネットで調べたことから、その遊びでつく力を整理して説明していたところが説得力があり、その遊びのよさがわかりました。遊びの広場で、全校みんなが楽しくできるといいな。



# 小学校国語科単元計画【第5学年：読むこと】

【単元のねらい】心ひかれる人物の生き方から考えたことを紹介し合うことを通して、複数の関連図書を効果的に読み、自分の生き方について考えを広げたり深めたりする力を高める

【単元のめあて】「人物グッとカード」を作って、心ひかれる人物について友だちと交流しよう

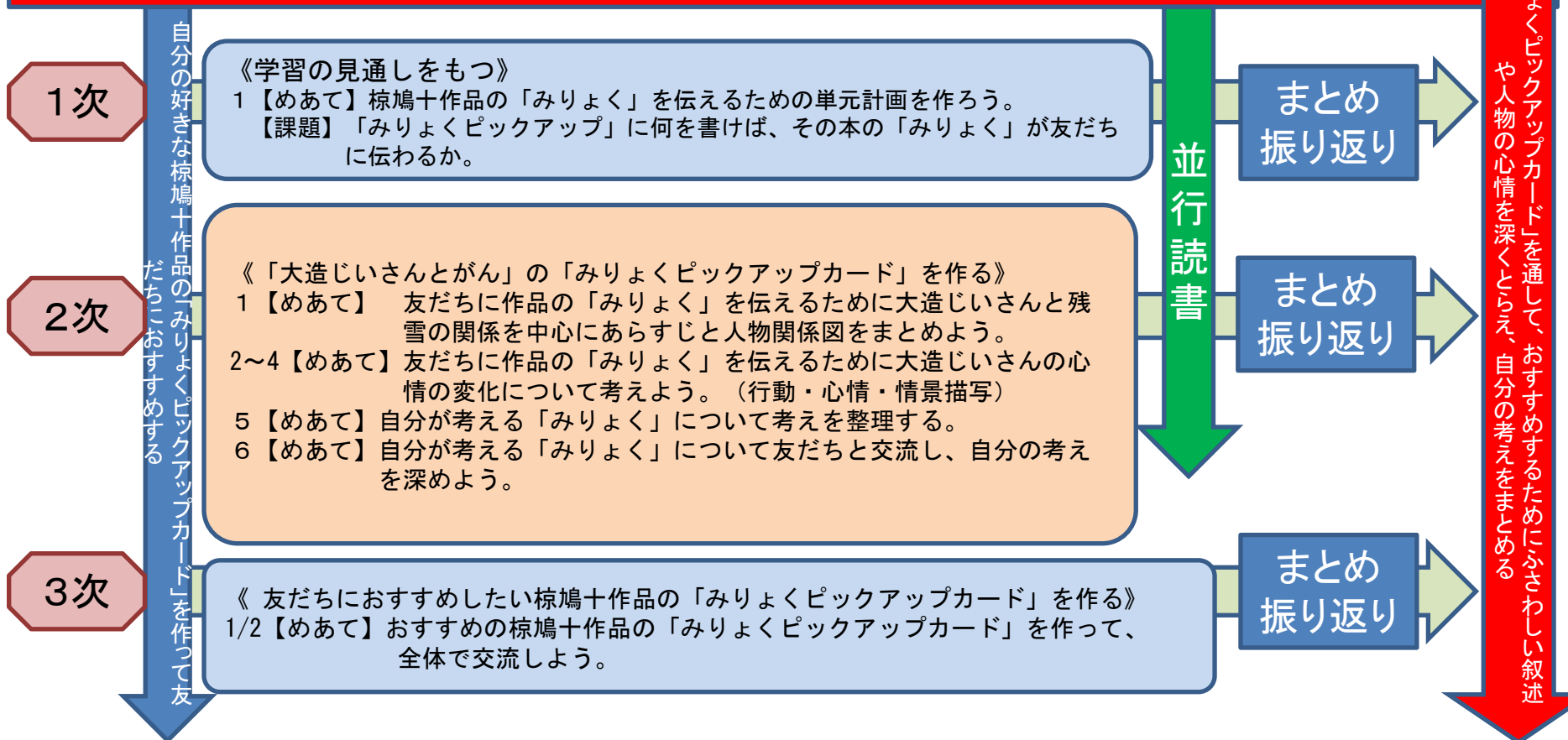


【単元の振り返り】(記述例)人物について調べるとき、自伝や伝記など、複数の資料を読んだ方がその人の人物像がよりくわしくわかると思った。メインの資料はじっくり読んで、その他の資料はざっくり読んだり、目次から必要と思うところを中心に読んだりすると、効率よく読むことができた。友だちの調べた人物と私がおすすめた人物はちがう人だったが、「人の役に立とう」とする気持ちには共通点があった。友だちがおすすめた〇〇さんについて書かれている本も、今度読んでみたいと思った。

# 小学校国語科単元計画【第5学年：読むこと】

【単元のねらい】本の「みりよくピックアップカード」を作るために、優れた叙述を手がかりにしたり、友だちとの読みの交流したりすることを通して、登場人物の心情を表す表現や相互関係などの物語のみりよくについて自分の考えを明確にしながらか読む力を高める。

【単元のめあて】椋鳩十作品を読み、作品のみりよくを「みりよくピックアップカード」に表し、友だちと伝え合おう

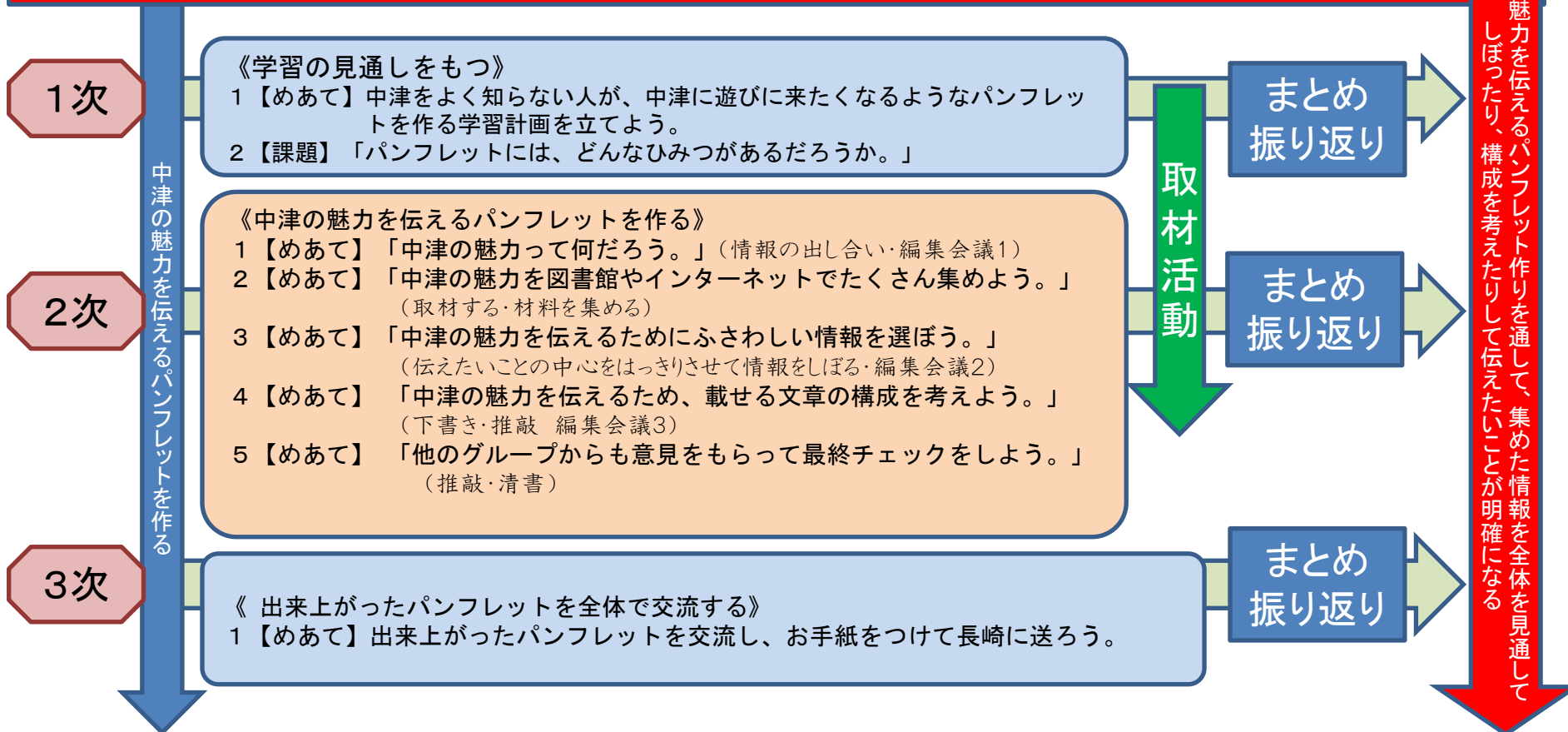


【単元の振り返り】(記述例)私が考えた「みりよく」は残雪のほこり高い姿です。「鳥とはいえ、いかにも頭領らしい、堂々たる態度のようでありました。」という文からたとえきずついても最後まで弱い所は見せないというプライドの高さを感じました。でも〇〇さんが考える「みりよく」は、大造じいさんが残雪の見方を変えたところだと言ってくれました。残雪が最後、元気になって再び空へ帰っていったのは大造じいさんの考えが変わったからだという意見を聞いて大造じいさんの立場になって考えることができました。みりよくを伝えるのに、情景描写が効果的でした。

# 小学校国語科単元計画【第6学年：書くこと】

【単元のねらい】中津の魅力を伝えるパンフレット作りを通して、集めた事柄を全体を見通して整理したり、構成の効果を考えたりする力を高める。

【単元のめあて】中津の魅力を伝えるパンフレットを作って、お世話になった長崎のさるくガイドさんに送ろう

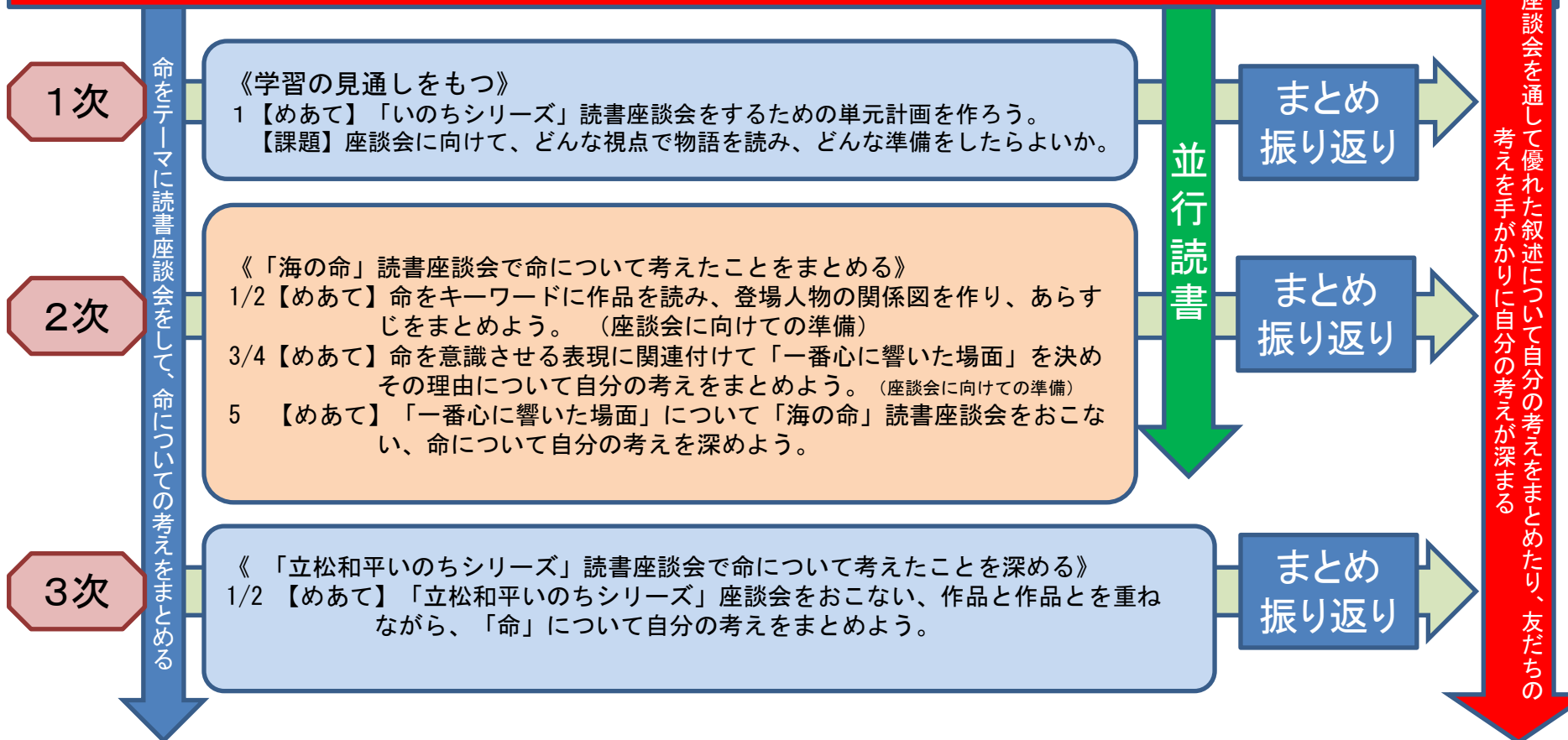


【単元の振り返り】(記述例)パンフレットを作るときは、まずは調べた情報を整理することが大切だと感じた。自分の一番伝えたいことをはっきりさせてから情報をしぼっていくことができた。また、長崎の人は、中津のことを全く知らないと思うので、どんなキャッチコピーや文章がよいか班で何回も会議をした。中津の魅力(中津城・からあげ)が伝わるパンフレットができたと思うので、さるくガイドの人の反応が楽しんだ。

# 小学校国語科単元計画【第6学年：読むこと】

【単元のねらい】命をテーマにした読書座談会を通して、登場人物の関係性からとらえた人物像や心情を表した描写、象徴性のある言葉や物語のメッセージを意識させる表現などに気付き、それについて考えたことをまとめることができるようにする。また、座談会で語り合うことで、自分と友だちの考えの共通点や相違点に気付きながら、自分の考えを広げたり、深めたりする力を高める。

【単元のめあて】物語を読んで、命について考えたこと感じたことを読書座談会で聴き合おう



【単元の振り返り】(記述例) 命とは、自然のめぐみからぐるぐると回って、そこからつながって次に続くものだと思う。座談会で〇〇さんの言った「海のめぐみ」の話から、そう考えた。他のいのちシリーズからも「命に無駄はない」という点に関連していると考えた。座談会で、自分と友だちの意見が同じなのか違うのか、考えて聴き合うことができたし、友だちの考えとつなげてさらに自分の考えが深まったと思う。